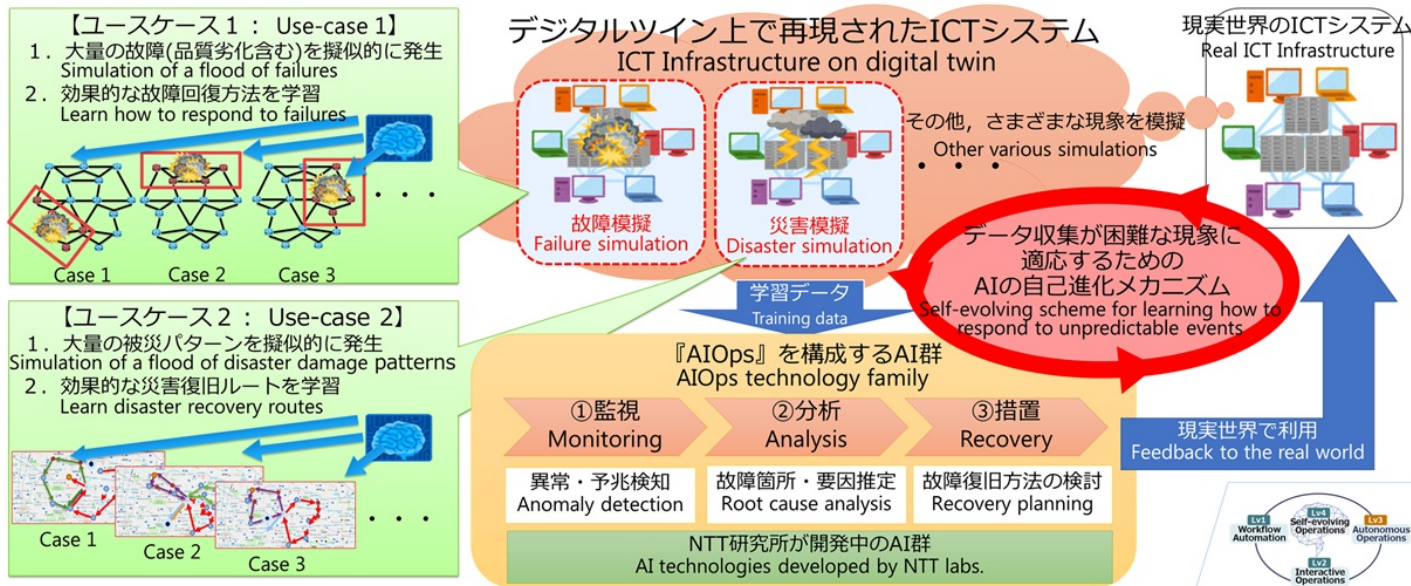




# 現実でデータ収集が困難な現象をデジタルツイン上で学習します

### 概要

現在、ICTシステムへの故障や災害の影響を最小化するため、AIによる運用高度化が期待される一方、その発生頻度などから、AIの学習に十分なデータの収集は困難です。そこで本展示では、さまざまな現象を擬似、あるいはシミュレーションで発生させ、その対処法をAIが学習して実世界で利用するスキームを説明します。



### 特徴

- さまざまな現象を擬似、あるいはシミュレーションで発生させ、その対処法をAIが学習
- 将来的には、デジタルツインで再現したICTシステムで学習したAIを、実世界で利用

### 利用シーン

- さまざまな大規模故障を擬似的に発生させて、効果的な回復方法をAIが自律的に学習
- 数百年に一度の大災害による影響を模擬して、効果的な対応方法をAIが自律的に学習

### 今後の展開

- 『AIOps』を構成するAI群の開発を推進し、非常時／平常時の現象を模擬する方法論の検討を進め、これらを統合してAIの自己進化メカニズムの構築をめざします。

### 出展社

日本電信電話株式会社

問い合わせ先：  
rdforum-nw-ml@hco.ntt.co.jp